

保温時の電気代は 従来型の約 1 / 3 のものも

環境などの配慮から省エネをうたった製品が数多く販売されています。その一つ、電気ジャーポットも、真空構造や真空断熱などを利用した省エネ型が販売されています。

そこで、従来型（省エネ構造でない汎用品）と性能や安全性を比較してみました。

なお、このテストは（独）製品評価技術基盤機構の「平成19年度消費生活センターテスト支援」の一環として行いました。

テスト品（いずれも定格容量3.0ℓ）

- ・省エネ型 5 銘柄（No.1～5）
- ・参考品 従来型 2 銘柄（No.6, 7）
魔法瓶 2 銘柄

注）魔法瓶 2 銘柄（ガラス製及びステンレス製）は非通電時の保温性能テストの比較のために使用。

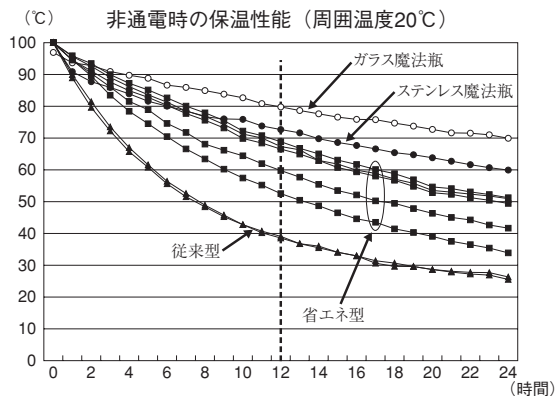
テスト結果

○基本性能（容量3.0ℓで試験）

1. 湯沸かし時間と電気代

周囲温度20℃（水温20℃）で沸かした場合の、沸き上がり時間は20～32分と大きな差がありました。消費電力が大きい銘柄の方が早く沸く傾向にありました。

グラフ1



湯沸かしにかかる電気代は全銘柄とも7円前後で、銘柄やタイプ（省エネ型・従来型）による差はほとんどありませんでした。

2. 保温性能

湯沸かし後、通電を切った場合の保温性能（グラフ1）は、魔法瓶、ついで省エネ型、従来型の順でした。

12時間後のお湯の温度で比較すると魔法瓶のガラス製が80℃、ステンレス製が73℃、省エネ型は53℃～69℃と省エネ型の中でも約16℃の差がありました。

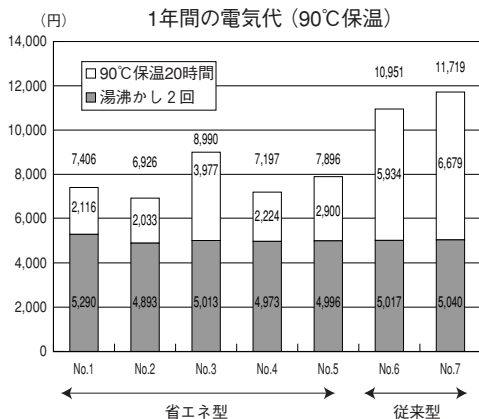
従来型はさらに低く約40℃でした。

赤外線カメラでジャーポット全体を写すと、保温性能が低いものは熱がふた全体から漏れていることが分かりました。

○経済性

1日2回湯を沸かし、90℃で20時間保温した場合の1年間の電気代（グラフ2）を比較してみると、湯沸かしにかかる電気代は省エネ型も従来型も大差なく、省エネ型は保温時に要する電気代は従来型に比べ安くなりました。省エネ型の中でも保温性能の高かったNo.1, 2, 4は従来型に比べ保温時の電気代が約1/3でした。

グラフ2



●ポットの性能とテスト結果（抜粋）



No. 1 マイコン沸騰 VE 電気まほうびん (CV-PX30、象印マホービン(株))



No. 2 VE 電気まほうびん とく子さん (PVS-A300、タイガー魔法瓶(株))



No. 3 電気保温ポット (PLK-30VFA、東芝コンシューママーケティング(株))



No. 4 沸騰浄水ジャーポット (NC-SU30A、松下電器産業(株))

No.	定格消費電力 (W)	沸き上がりの時間	沸き上がり電気代 (円)	12時間後の温度 (℃)	90℃ 20時間保温の電気代 (円)	1年間の電気代※ (円)	重量 (kg)	購入価格 (円)
1	905	25分53秒	7.2	67	5.8	7,406	3.1	13,800
2	905	23分51秒	6.7	69	5.6	6,926	3.5	15,200
3	900	25分7秒	6.9	53	10.8	8,990	2.7	11,000
4	1,000	19分55秒	6.8	66	6.0	7,197	3.1	16,800
5	905	24分51秒	6.8	59	8.0	7,896	2.8	16,500
6	700	31分45秒	6.9	38	16.2	10,951	2.2	7,980
7	905	24分49秒	6.9	39	18.2	11,719	2.2	5,980

No. 6 象印マイコン沸騰電動ポット CD-WF30、

No. 7 タイガーマイコン電動ポット PDK-A300

※ 1日2回湯沸かしし、90℃で20時間保温した場合。



No. 5 マイコン沸とう真空ジャーポット (HJP-V30、株式会社日立リビングサプライ)

○安全性

湯沸かし中および保温時の本体は、蒸気口およびその付近以外でやけどをするような温度になる箇所はありませんでした。また、全銘柄カラ炊きした場合、安全装置が働き問題はありませんでした。転倒試験では漏れる銘柄がありましたが、JISの基準値（50ml以下）でした。

まとめとアドバイス

- 沸き上がり時間は消費電力の大きい方が早く沸く傾向にありました。ただし、湯沸かし中はブレーカーなどが落ちないように電気容量を考えて使用しましょう。
- 沸き上がりに要する電気代は消費電力やタイプに関係なくほぼ同じでした。
- 保温時の電気代は省エネ型の方が安い傾向にありました。特に保温性能の高い銘柄は従

来型に比べ約1/3になりました。

●省エネ型は、数時間しか使わないときには魔法瓶機能で保温し、使うときに再沸騰させるとより経済的。しかし、保温性能は魔法瓶より低いので、沸騰したお湯でなくてよい場合は、魔法瓶で保温して使った方が更に経済的です。また、1銘柄を除き電源プラグを抜いた状態でも給湯できました。

●従来型の電気ジャーポットは24時間使用すると400ℓクラスの冷蔵庫に匹敵する電気代がかかります。省エネ型は従来品に比べ重量が約1.5倍重く、価格も割高ですが、保温性能が高いことから頻繁に電気ジャーポットを利用する家庭や職場では経済的です。

●蒸気口やその付近は沸騰時や直後など高温になっています。また、転倒すると給湯口や蒸気口から漏れる銘柄もありますので、小さい子供がいる家庭では注意が必要です。